



放射線相談室だより 76号

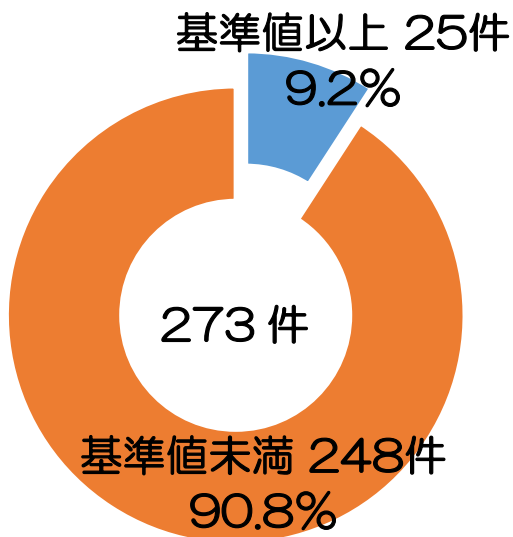
令和3年4月23日

1

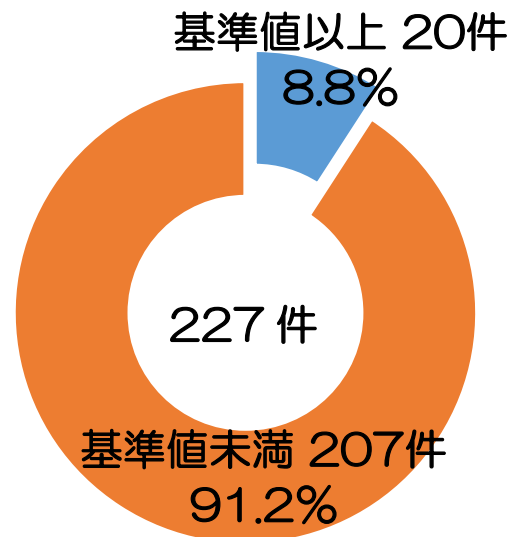
食品の放射能検査の結果について (令和2年度)

昨年度、町*では227件の検査を実施しました。
以前と比べてみてみましょう。

(※広野町放射線簡易分析センター)



令和元年度



令和2年度

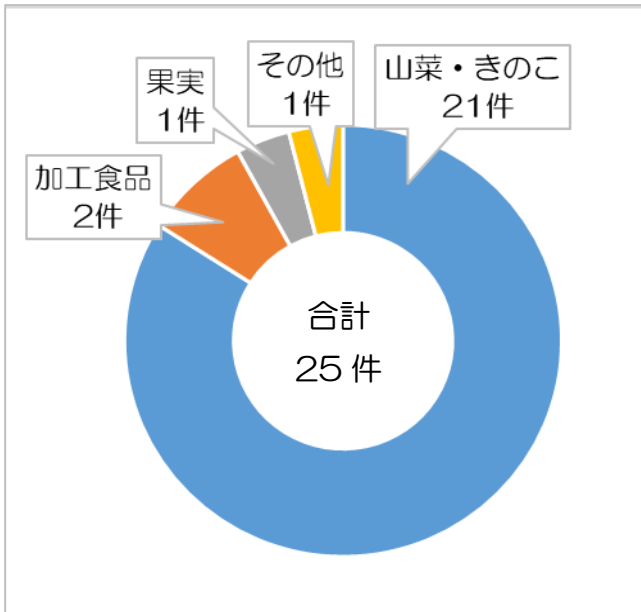
※【基準値】一般食品 100Bq/kg

前年度と比較すると、検査数が273件から227件に46件減り、基準値以上の割合も減ったように見えますが、前年度と変わりないと思います。続いて内訳を見てみましょう。

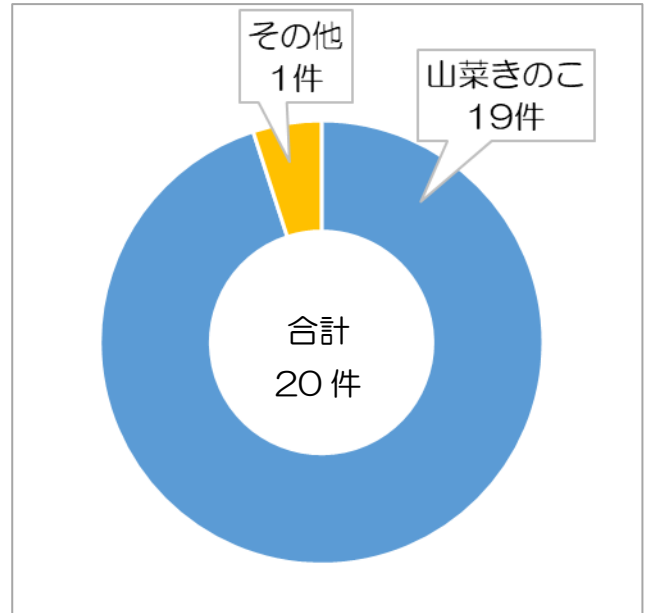


基準値以上の食品の内訳

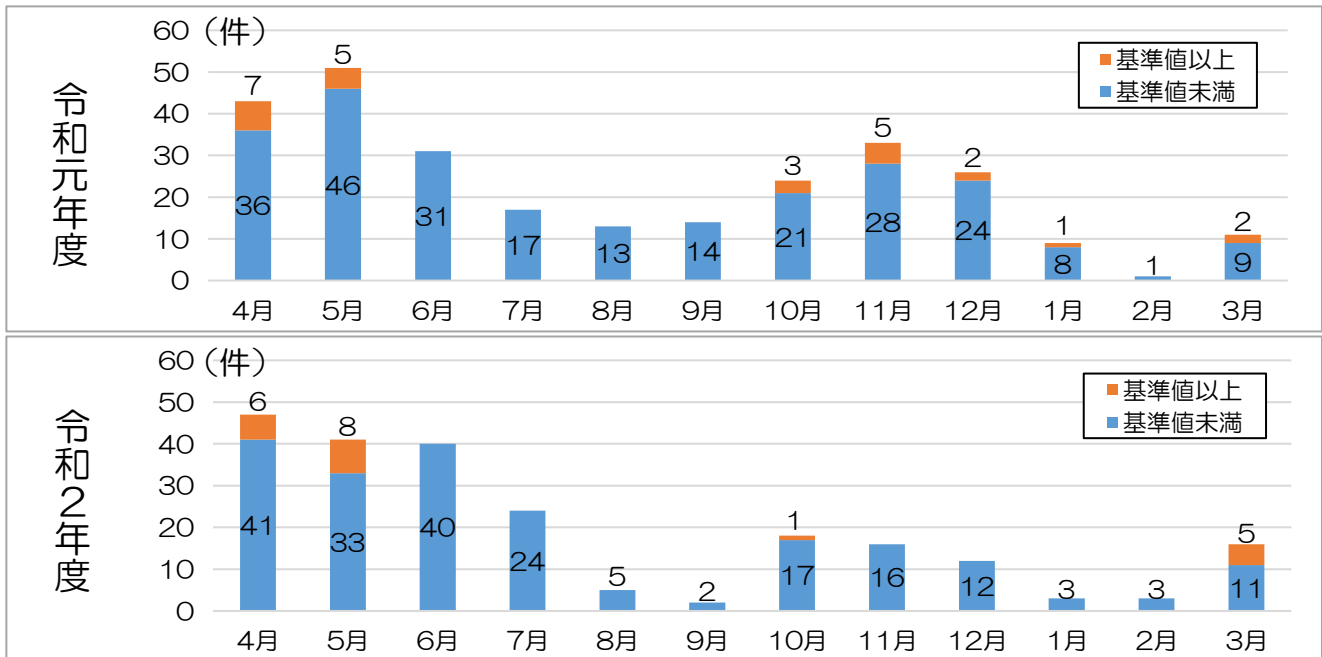
令和元年度



令和2年度



月別の検査結果の比較



これまでと同じく、「山菜・きのこ」に放射性物質が残りやすいことが見えています。今後も食品検査結果を見える形で公表してまいります。

食品の放射能検査に関するお問い合わせ先

☎080-3303-6805 (放射能簡易分析センター)

食品のモニタリング結果総括表

(令和2年3月実施分)

【基準値】: 一般食品 100Bq/kg 牛乳・乳幼児製品 50Bq/kg 飲料水 10Bq/kg

規制のない食品	検査数	基準値未満	基準値以上	備考 (基準値以上の品目)
野菜	3	3	0	
根菜・芋類	—	—	—	
山菜・きのこ	12	8	4	シイタケ
果物	—	—	—	
穀類・種実類	—	—	—	
魚介類	—	—	—	
加工食品	1	0	1	シイタケ(乾)
飲料水	—	—	—	
その他(肉類など)	—	—	—	
総検査数	16	11	5	

食品モニタリング結果の詳細については、公民館1階の放射能簡易分析センターと放射線相談室に置くほか、広野町ホームページに掲載しますのでご利用下さい。

右のQRコードを読み取ったあと、東日本大震災復興関連情報→放射線量・除染関連→放射線量情報の項目の中の「食品モニタリング」をクリックしていただくと見ることができます。



場 所	公民館1階 放射能簡易分析センター
曜 日	月曜日から金曜日(祝日を除く)
受付時間	午前8時30分～午後4時30分まで

広野町各地区の放射線量

令和3年4月15日13時30分現在(天候:晴)の町内各地区代表的な個所のモニタリングポストの数値をお知らせします。

測定箇所	放射線量率(μ Sv/h)	測定箇所	放射線量率(μ Sv/h)
広野小学校	0.08	広野町役場	0.09
広野中学校	0.07	高速バス利用者駐車場	0.13
広洋台地区集会所	0.09	上田郷橋付近 ^{注1}	0.10
二ツ沼公園 ^{注2}	0.07	北沢複合交差点	0.13
長畑地区集会所	0.10	県道広野～小高線沿	0.12
小滝平浄水場 ^{注2}	0.07	仮置場	0.11

注1 平成29年3月設置

注2 ニツ沼公園、小滝平浄水場のモニタリングポストは現地ではnGy/h(ナノグレイ毎時)で表示されていますが、 μ Sv/h(マイクロシーベルト毎時)に換算して掲載しています。



食品と放射能 Q&A



少量であっても、放射性物質を普段より多く摂ることは心配です。どのような食生活が体にいいのですか？

バランスの良い食生活が大切です。痩せ過ぎや肥満、塩分の採り過ぎは、100～200 ミリシーベルトの放射線を受けた場合より、がんになるリスクを高くするという研究報告があります。

また、カリウムは、ナトリウムの排泄を促し、血圧の上昇を抑えるなど、健康を保つのに必須の栄養素です。カリウム 40 は、カリウムに一定比率（0.012%）含まれているため、カリウム 40 だけを避けることはできません。

ごく少量の放射性物質の健康への影響については諸説ありますが、野菜や果実などからカリウムを摂り、食品をバランスよく食べることが大切です。

出典：（内閣府食品安全委員会「食べものと放射性物質のはなし」）

野菜などについて、放射性物質を少しでも減らす努力はできますか？

（独）放射線医学総合研究所（現：国立研究開発法人 量子科学技術研究開発機構）によれば、「野菜を洗う、煮る（煮汁は捨てる）、皮や外葉をむく、などによって、汚染の低減が期待できます」とされています。

調理方法による放射性物質の低減に関する研究として、報告があり、例えば米などは、脱穀・精米の過程や、野菜の水洗い・煮沸において相当程度の放射性物質が除去されることが示されています。

出典：（内閣府食品安全委員会「放射性物質を含む食品による健康影響に関する Q&A」）

発行者

広野町健康福祉課放射線健康相談係 0240-27-2113